

Hi こんにちは！「ひろこく」です

# ワンデーレスポンスによる 業務改善

～ 全工事を対象に試行を開始～

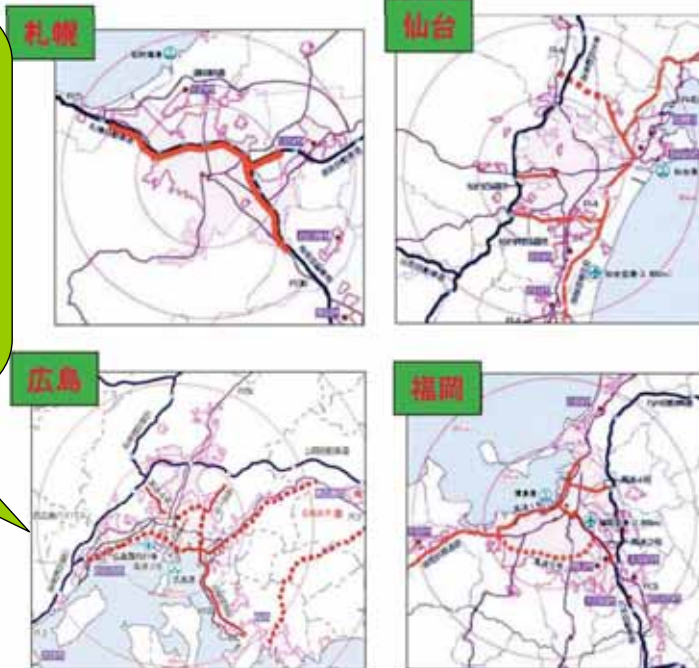
平成19年7月25日  
国土交通省中国地方整備局  
広島国道事務所長  
上坂克巳

## ワンレス導入の背景

# 10年遅れる広島都市圏の自動車専用道路ネットワーク

計画延長130kmのうち、  
供用済は50kmのみ

残る自専道80kmのうち  
54kmと  
広島高速関連国道6kmを  
広島国道事務所が整備



出典：中国地整「広島都市圏に必要なことを探る」

## 広島国道事務所が整備中の自動車専用道路

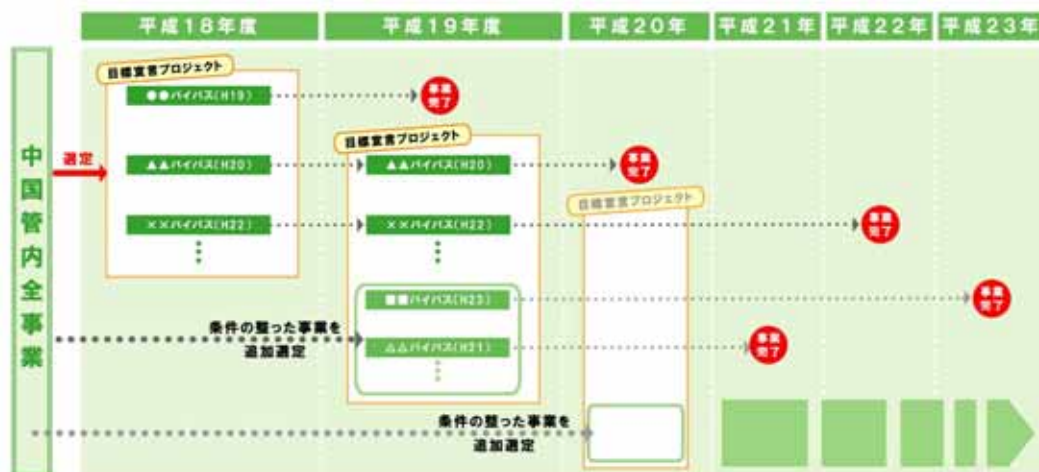
平成19年度 総事業費約300億円、全工事数は150以上



## 目標宣言プロジェクト ~今年度全国展開~

5年以内に供用を目指す効果の高い事業について、  
供用目標と年度ごとの進捗目標を公表

- 事務所運営の立場からいうと、「選択と集中」
- 対外的には事業個所ごとの「マニフェスト」の提示



## ワンレスをはじめたきっかけ

- 昨年7月 広島国道事務所へ異動後、  
プロジェクトマネジメントが頭痛のタネ
- 2月9日 日経コンストラクション  
「明治法面工事のワンデーレスポンス」
- 2月20日 主任監督員にワンレス実施可能性をアンケート
- 3月5日 局長が会議で「ワンデーレスポンス」紹介  
モデル事務所として、試行の準備始める。
- 4月9日 全工事対象に試行開始
- 5月14日 ワンレスに関する所内、施工者アンケート
- 7月2日 広国「ワンデーレスポンス」実施要領 改訂

# 広島国道事務所 「ワンデーレスポンス」 実施要領(案)

---

平成19年7月2日改訂

## 「ワンデーレスポンス」の定義

---

- 施工者からの問い合わせ、協議等について、主任監督員が24時間以内に回答、あるいは回答期日を連絡することをいう。

## 2つの目的

---

- 施工者を待たせず、工事をスムーズに進める
- 担当職員が仕事を抱え込む状況を防ぐ

## ワンレス実現のための3課題

---

- 主任監督員の権限の拡大
- 工事打合せ簿の決裁の迅速化、省力化、見える化
- 設計担当、工事発注担当、監督員、施工者の連携の強化

## 4. 「ワンデーレスポンス」のルール(1)

---

(1) 原則24時間以内に回答(主任監督員の権限)

工事打ち合わせ簿の発議事項のうち、  
「通知」、「承諾」、「提出」、「届出」、「その他」  
工事打合せ簿の発議事項の「協議」のうち、  
数量の増減(既工種の現地合わせ等)で、  
概ね \_\_\_\_\_ 万円未満のもの

## 4. 「ワンデーレスポンス」のルール(2)

---

(2) 原則24時間以内に回答期日を連絡

(事務所決裁が必要)

数量の増減(既工種の現地合わせ等)で、  
概ね \_\_\_\_\_ 万円以上のもの  
構造変更に伴い構造計算等の確認が必要なもの  
新工種、新工法及び工法変更に関わるもの

## 4. 「ワンデーレスポンス」のルール(3)

---

### (3) 回答期日の決定方法

- 主任監督員が 対応の優先順位、 施工者の希望を勘案して、回答期日( 月 日)を決定する。
- 回答期日は工事打ち合わせ簿の発議年月日から原則として2週間以内で定める。

## 5. 工事打ち合わせ簿の決裁の迅速化

---

### (1) 決裁者の迅速な判断

「ワンデーレスポンス」のルールを踏まえ、監督員は主任監督員に、発注担当者は担当課長に速やかに決裁を上げるとともに、主任監督員及び担当課長以上の決裁者は迅速に判断を下す。また、決裁者は、一部の問題点のため全ての協議内容を止めないように努める。

### (2) 工事情報共有システムによる電子決裁と紙による決裁の使い分け

### (3) 緊急時のメール一斉決裁

「回答期日」の確実な伝達のためのルール化

# 工事情報共有システムの活用

- 若手、現場の声の反映
- 眠っていた中国地整の財産の活用 (CALS/EC)
- 決裁状況が一目瞭然、回答期日等をコメント

役職区分	役職	氏名	状態	回答期日	コメント
主任監督員	事務所長	上野 尚巳	--		
	事務所長	原田 光治	--		
	事務所課長	甲田 誠文	待機中		
主任監督員	建設監督官	神崎 寛	--		日清の日までに回答予定
	専門員	山本 邦広	--		
	一般職員	尾本 知子	--		
現場担当員	現場担当員	竹門 功樹	--		
現場担当員	現場担当員	沖田 高治	--		

コメント記入欄 ※ コメントを記入して「承認」「非承認(意見有り)」「検討中」ボタンをクリックするとコメントが登録されます。

日清の日までに回答予定

回答期日を記載

## 6. 設計担当、工事発注担当、監督員、 施工者の連携の強化

### < 事務所内の連携 >

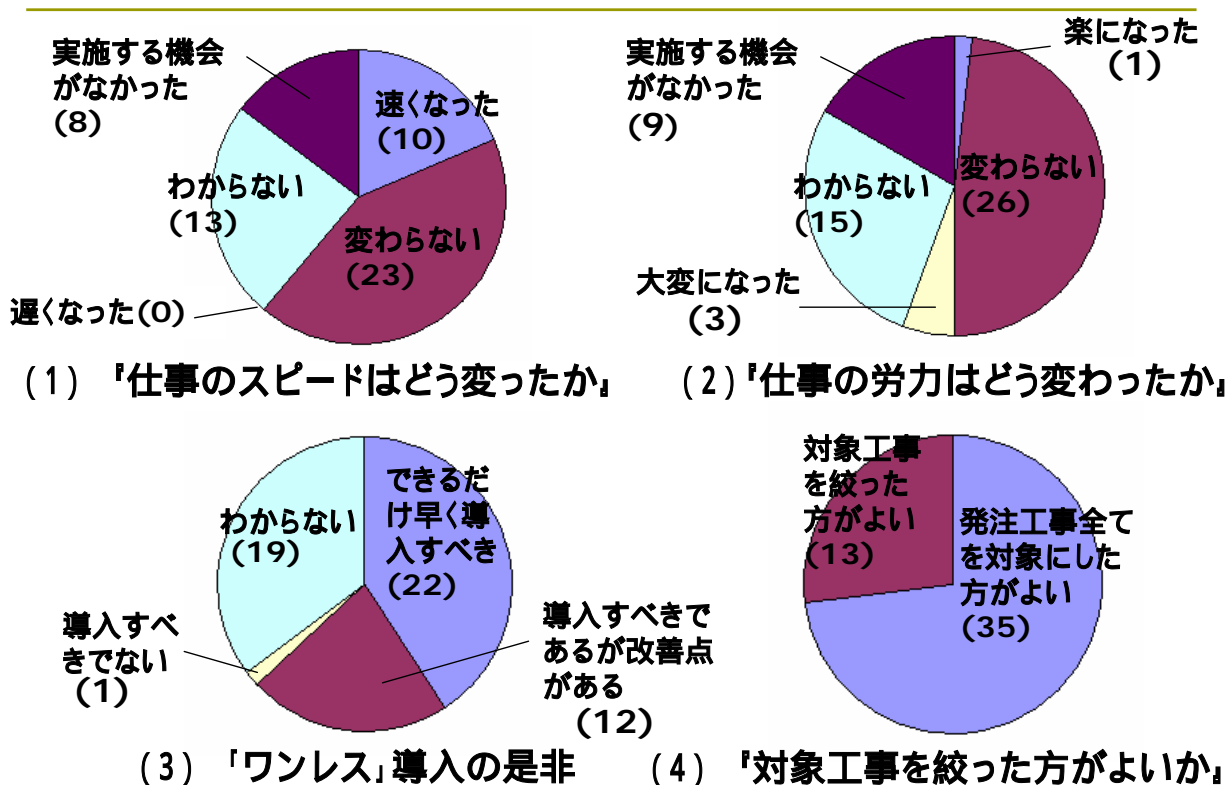
- 詳細設計時における現地調査
- 地元調整事項、設計思想の工事発注課への引継
- 工事発注前の監督員との現地視察
- 工事発注担当課の月1回の現場視察

### < 施工者との連携 >

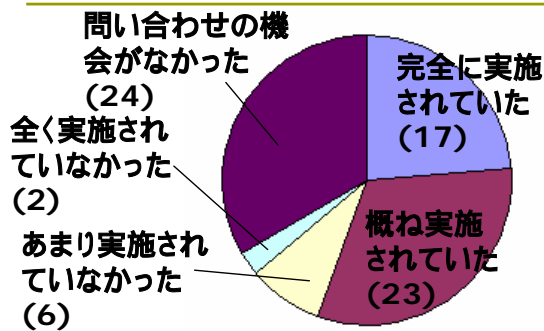
- 施工者は主任監督員に対し、漠然と相談、質問するのではなく、必要最小限の「判断材料」及び、「理由書」を揃える
- あらかじめ予想される事項は、余裕を持って事前協議

# 今後の展開

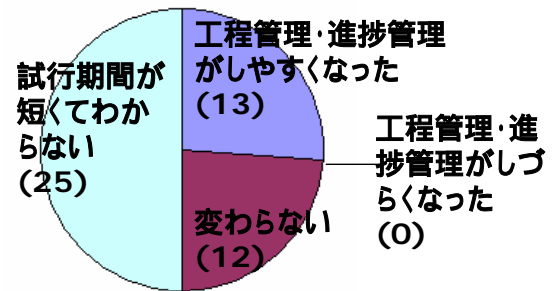
## 試行1か月後のアンケート(職員54名)



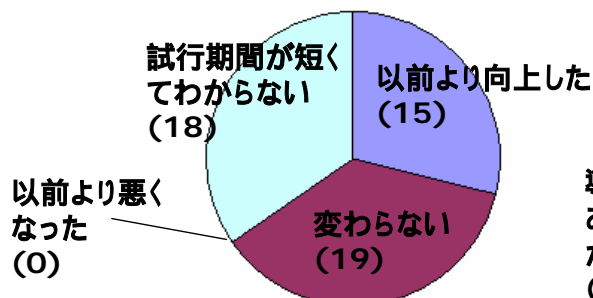
## 試行1か月後のアンケート(施工者72社)



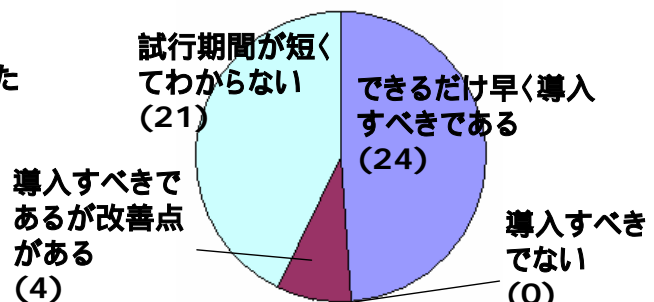
(1) 「ワンデーレスポンス」の実施状況



(2) 工程管理・進捗管理のしやすさ



(3) 監督職員とのコミュニケーション



(4) 「ワンレス」の導入の是非

## 見えつつある効果と課題

### < 効果 >

- 現場での即断即決が増加傾向
- ワンレス精神(遅い100点より、早い60点)の浸透

### < 課題 >

- 事務所の決裁者にとって、分かりやすい説明資料の効率的な作成方法
- 工事情報共有システムの機能改善
- 回答期日、クリティカル工事の徹底

# なぜ、全工事を試行対象にしたか？

## < 批判 >

- 理屈から言えば、発注者だけ頑張っても、施工者がついてこれなければ空回り。三方良しにならない。
- 工事本数を絞って、正確な効果分析が必要ではないか？

## < 広島国道事務所の反論 >

- 三方良しは理想だが、**まずは一方良しでもいい。**  
自分たちの仕事のやり方を見直すきっかけ。
- 部分的試行では、結局、もう1年試行が必要。**来年度の本格運用を目標とし、部分最適化ではなく最初から全体最適化を目指した試行を行う。**(柔軟に、年2～3回試行サイクルを回す)
- 最初から優先順位(対象工事)を決めた試行ではなく、多数の工事の中で、臨機応変に**優先順位を判断する癖**をつけたい。  
**「回答期日」は優先順位と同義語。**  
クリティカルパスや**施工者の頑張り**等に応じて変える。

# 試行結果の集計方法

工事名 : ○○工事  
請負業者名 : ○○株式会社

7月分

日付	内容	工事打合せ簿					手続き		24時間以内に回答があったもの	24時間以内に回答期日の連絡があったもの	回答予定の日数(日)	実際回答に要した日数(日)	回答待ちのもの	備考
		協議→指示	協議	通知	承諾	提出	届出	電子						
例 7月12日	履行報告書(1)の提出について						●	●	●		—	—		
例 7月17日	土質試験の追加について	●						●		●	4	2		
例 7月21日	工期延期について	●						●			3	5		
例 7月28日	橋梁下部工の配筋図の変更について	●						●	●	●	7		●	翌月にも記載
合計	4件	3	0	0	0	0	1	2	2	1	2	14日	7日	1

注意事項 工事打合せ簿の区分は発議時で整理。ただし、「協議」内容が「指示」に変わったものは「協議→指示」で集計のこと。  
「電子」とは、工事情報共有システムによるもので、それ以外の手続きは全て「紙」として集計すること。  
回答日数の算定の基準日は、監督員との事前協議が終わり確定した「打ち合わせ簿」を監督員に提出した時点とする。  
回答待ちのものは、回答のあるまで記載を継続すること。(翌月にも記載する)  
翌月以降にも回答待ちとなる場合は、発議時からの日数を記載すること。(月ごとの日数を記載しないこと)  
「備考」欄には、回答が予定より遅れた場合の理由等を記載すること。

# 発注者のプロジェクトマネジメントにおける ワンデーレスポンスの役割

【17のプロジェクトチーム】(7/25現在)  
(調査設計、用地買収、工事発注、現場監督、管理等の連携)  
月単位の工程管理、クリティカルパス・目標工期の明確化



【ワンデーレスポンス】  
日々～週単位の工程管理のルール

プロジェクトチーム単位の責任分担マトリックス

Hiこんには、は！「ひろこく」です

ルールを変えると  
仕事のやり方が変わる。

ご静聴ありがとうございました！